

第12回ハイブリッド市民公開講演会～MS/NMOSD等～

過去2年間はコロナ禍のため、ZOOM オンラインの市民公開講演会を開催しました。本年はコロナ感染状況の改善もあり、リアル（会場）と Zoom オンラインのハイブリッド開催を実施しました。会場は浅草橋のヒューリックカンファレンス3階、Room1。講演会の総合司会は昨年引き続き株式会社三栄コーポレーションの池田舞様です。

第1部は当協会水谷理事長の挨拶で開会。令和4年度医学研究助成審査委員長の順天堂大学大学院医学研究科客員教授の田平先生より、審査に関する説明と医学研究助成を受賞した3名の先生方の研究内容概要の紹介がありました。本年より助成を受賞された先生方の研究発表の場が当協会市民公開講演会から日本神経免疫学会に変更されましたので、本年9月13日から15日のいずれかの日にご発表いただきます。

第2部は基調講演2題。東京都立荏原病院の野原先生は「多発性硬化症の最新治療」、そして国立精神・神経医療研究センター病院の林先生は「視神経脊髄炎スペクトラム(NMOSD)の病態と治療：最新知見」がテーマです。基調講演後、会場参加者とオンライン視聴者から非常に分かりやすい講演でした、との嬉しいコメントをいただきました。そして今年も例年通り、英国 MSIF（多発性硬化症国際連合）からお祝いメッセージが届きましたので、司会の池田様より紹介がありました。誠にありがとうございました。

第3部は、特別ビッグ対談のパネルディスカッション。テーマは「MS・NMOSD・MOGADの診察と治療：現状と課題」。福島県立医科大学の教授、藤原先生の素晴らしい司会の下、東京都立荏原病院の野原先生、国立精神・神経医療研究センター病院の林先生、横浜市立大学の竹内先生の3名の先生方がパネリストとして様々な角度から存分にお話をしてくださりました。20分間のQ&Aセッションでは視聴者様より多くのご質問があり、4名の先生方がご丁寧にお答えくださいました。その後、国立精神・神経医療研究センター神経研究所、特任研究部長の山村先生の講評でした。そして最後に当協会山本副理事長の閉会の挨拶となり3時間ほどの市民公開講演会が終了いたしました。ご講演・ご挨拶をいただきました先生方、理事長、副理事長、総合司会の池田様に厚く御礼申し上げます。初めてのハイブリッド開催でしたが、嬉しいことに高評価をいただいております、浅草橋の会場からオンラインでつなぎ、北海道から沖縄の多くの皆様にご視聴してくださいました。後援の全国多発性硬化症友の会、NPO法人MSキャビンの皆様、ご寄附をいただきました個人並びに製薬企業の皆様方、ボランティアの皆様、そして会場のヒューリックカンファレンスの皆様にも厚く御礼申し上げます。

この講演会のアーカイブ動画を当協会HPのYoutubeにて一般公開いたしております。当協会HP(<http://www.jmss-s.jp/>)のYoutubeをクリックしてご覧いただけます。是非ご視聴ください。また来年の第13回市民公開講演会でお会いできるのを楽しみにしております。日本MS協会 事務局

水谷理事長オープニング挨拶



野原先生基調講演



林先生基調講演



田平先生の医学研究助成講評



パネルディスカッション（4名）



参加先生と理事役員ショット

